

工業会活動報告

Ⅰ. 運営委員会、理事会、新年懇親会、懇談会

1. 運営委員会

平成 27 年度第 5 回運営委員会が 3 月 17 日に開催され、平成 27 年度第 6 回理事会への上程議案の報告・審議が行われた。

2. 理事会

平成 27 年度第 6 回理事会が 3 月 25 日に開催され、決議議案として、「会員の入会」、「常勤役員候補者選定委員会の委員委嘱」、「平成 28 年度事業計画」、「平成 28 年度予算」が審議・承認された。また、報告議案として、「平成 27 年度決算見通し報告」、「会員に関する報告」、「業務関係経過報告」が行われた。

3. 新年懇親会

新年懇親会が 1 月 7 日にホテルメトロポリタンエドモントにおいて開催され、来賓・会員・関係者 374 名が出席した。

4. 懇談会

(1) 特別会員懇談会

JR 会社及び公民鉄会社を東日本地区、西日本地区に分けて特別会員懇談会を開催した。東日本地区については、2 月 9 日に鉄車工で開催し、鉄道事業者 15 社局 15 名、運営委員 12 社 13 名、合計 28 名が出席した。西日本地区については、2 月 17 日に大阪で開催し、鉄道事業者 14 社局 14 名（オブザーバー 1 名を含む）、運営委員 11 社 12 名、合計 26 名が出席した。両地区とも、鉄車工から次の事項について情報提供を行い、その後質疑応答・意見交換を行った。

ア. 2015 年度 鉄道車両の生産動態と需要見通し

イ. 鉄道市場を巡る内外の動きと対応

ウ. 鉄車工ホームページのリニューアル

(2) 中堅企業会員懇談会

第 47 回中堅企業会員懇談会を 3 月 29 日

に開催し、8 社が参加した。独立行政法人交通安全環境研究所の見学を行った。

(3) 海外企業会員懇談会

第 44 回海外企業会員懇談会を 3 月 30 日に開催し、9 社が参加した。メンバーのタイコエレクトロニクスジャパン合同会社より会社概要のプレゼンを行った。

Ⅱ. 業務報告

1. 広報・教育に関する活動

(1) 委員会

ア. 広報委員会を 2 月 16 日に三菱電機（株）のご好意により同社の四国支社で開催し、来年度の活動計画（「鉄道車両工業」誌の記事掲載候補、「試乗会・見学会」の候補及びイノトランスに向けた英文の鉄車工パンフレットの作成等）について審議を行った。なお、委員会に先立ち、2 月 15 日に四国旅客鉄道（株）の 8600 系特急形直流電車の試乗と多度津工場の見学を行った。

イ. 「車両技術」編集委員会を 3 月 1 日に開催し、「車両技術」誌 251 号（3 月号）の掲載内容の確認、252 号以降の掲載車種候補等の審議を行った。

(2) 講習会

第 4 回鉄道車両講習会を、「鉄道車両のメンテナンスについて」をテーマとして、2 月 10 日に開催した。（参加者：56 名）

(3) 機関誌・専門技術情報誌等の発行

ア. 「鉄道車両工業」誌 477 号（1 月号）を発行した。

イ. 「車両技術」誌 251 号（3 月号）を発行した。

ウ. 「車両要目表」第 10 集を 3 月末に発行した。

2. 車両生産に関する活動

(1) 車両生産委員会を 2 月 12 日に開催し、各小委員会の活動報告を受け質疑応答・審議

を行った。

(2) 生産管理小委員会を1月21日に開催し、「部品手配」をテーマとして、交付材と生産計画、倉庫管理について討議を行った。また、BOM(Bill of Materials)の活用について意見交換を行った。

(3) 車両生産小委員会を2月5日に開催し、「スパッタ防止対策」として車両製造に適したスパッタ防止剤を調査するため、各種スパッタ防止剤の試験・評価内容について討議を行った。

(4) 電機・ぎ装小委員会を3月4日に開催し、「配線材料」について継続討議を行った。

(5) 台車小委員会を2月19日に開催し、JRIS整備台車部会作成の「JRIS W 0307 台車枠塗装要領(案)」について継続討議を行い、生産部門としての最終意見を取りまとめた。また、「鋳物部品の加工面に表れるス」に係わる品質上の予防措置・事後措置の取り組み状況について意見交換を行った。

3. 基準整備に関する活動

基準整備に関する活動の詳細は[標準化情報](#)をご覧ください。

4. 情報システムに関する活動

(1) 電子情報化委員会

電子情報化委員会を2月29日に開催し、ホームページのリニューアル案について最終審議を行うとともに、来年度の活動計画(鉄道事業者及び他の業界の機器状態監視・データ伝送・データ処理技術の開発・活用状況の調査等)について審議を行った。また、委員会終了後、欧州鉄道車両メーカーの電子情報化の現状を知る一助として、ダッソー・システムズ(株)から「欧州鉄道車両メーカーにおける、グローバル協働への取り組みと今後の方向性」について講演いただいた。

(2) ホームページのリニューアル

2月24日に開催したホームページ改善検討小委員会及び2月29日に開催した電子情報化委員会の最終審議・承認を経て、3月2日にリニューアルしたホームページを試験公開した。約1カ月間ホームページ会員等から意見をいただき、反映して、4月4日に正式公開した。

<リニューアルの主要項目>

1. トップページの刷新

- ・最新レベルのサイト構成
- ・バーチャル博物館の各コンテンツへのダイレクトアクセス
- ・一般向けとホームページ会員向けの色分け等
- ・「鉄道車両製品・概要(例)」と「出版物紹介」を「鉄車工について」から独立
- ・「ペーパーレス会議資料」を「鉄車工活動」の中項目に移動
- ・「会員サイトログイン」ボタンの下に「ホームページ会員会社一覧」を追加

2. カラーユニバーサルデザインに配慮

3. 階層構成の採用(中項目扉ページの新設)

4. JRIS 規格(一般・会員ページ)

- ・シリーズ別表示
- ・オンライン注文

5. JRIS 規格、RIS 規格(旧鉄道車輛工業協会規格)及び JRS 規格(旧国鉄規格)の検索機能(会員ページ)

6. JRIS 規格(JRIS 整備部会用)を独立(会員ページ)



• 平成 27 年度特別会員懇談会開催

東日本地区特別会員懇談会を 2 月 9 日に鉄車工 6 階会議室、西日本地区特別会員懇談会を 2 月 17 日に大阪プリムローズホテルにて開催した。



東日本地区



西日本地区

• 鉄車工から日本車輛製造株式会社 富田 耕平殿
に感謝状を贈呈

平成 21 年以来、車両生産小委員会の委員長としてその活動に大きな指導力を発揮され、車両製造における多くの課題の解決に多大な功績を挙げられました日本車輛製造株式会社 富田 耕平殿に、2016 年 2 月 18 日、当工業会から感謝状を贈呈いたしました。

